

さいせいおたる



社会福祉法人 恩賜財団済生会支部北海道

済生会小樽病院

〒047-0008 北海道小樽市築港10番1号

TEL 0134-25-4321(代) FAX 0134-25-2888

URL <http://www.saiseikai-otaru.jp/>

発行 近藤真章 編集 広報委員会



小樽港

撮影 臨床検査室 一條周一 (写真部)

■目次

- 02 コラム 尿路結石症の治療
- 04 部署紹介 施設用度課
- 05 新設部署紹介 リハビリテーション科
- 06 トピックス 平成28年度 新しく着任した医師の紹介
- 10 電子案内板設置のお知らせ ほか

理 念

新たな地域医療の創造と社会貢献

患者中心、患者主体の医療

人を大切にする組織

尿路結石症の治療

コラム

泌尿器科 安達秀樹 部長



1. 尿路結石症とは？

尿の通り道にできた石を尿路結石と呼び、石が存在する部位により、腎結石、尿管結石、膀胱結石、尿道結石などと呼びます。

通常腎結石は無症状ですが、結石が尿の流れとともに移動して尿管にはまり込むと激しい痛みや肉眼的な血尿が生じます（尿管結石）。また結石が長期間尿管に介在していると、感染（腎盂腎炎）を併発したり、腎機能障害が生じる可能性があります。

2. 治療方法は？

結石の治療は、保存的治療と積極的治療があります。小さい結石の場合（一般的に10mm未満）は自然に排石することが期待できるので、薬物で痛みのコントロールを行いつつ、水分摂取を促して、尿とともに自然に結石が排出することを待つ保存的治療がおこなわれます。結石の排出を促す薬剤を投与することもあります。大きい結石の場合（10mm以上）やなかなか自然排石しない場合、痛みを繰り返すような場合などは、結石を破砕する積極的治療の対象となります。

積極的治療にはいろいろな方法がありますが、当院では体外衝撃波結石破砕術と経尿道的尿管碎石術をおこなっています。

○体外衝撃波結石破砕術（ESWL）

体外衝撃波結石破砕術（ESWL）は、体の外で発生させた衝撃波を体内の結石に当てて細かく砕く治療方法です。砕けた結石は尿とともに、尿管・膀胱を経由して体外に排出されます。

麻酔は行わず鎮痛剤を投与して、治療を行います。レントゲン透視装置で確認して結石に照準を合わせ、衝撃波を発生させて結石を破砕します。1回の治療で約1時間かかり、当院では原則1泊2日の入院治療としています。体への負担は比較的少ない治療ですが、砕けた結石が排出するまでには痛みが生じる可能性があります。また結石の状態（硬さや大きさ）によっては1回の治療では終了しないことがあり、その場合には期間をあけてから2回目の治療をおこないます。



体外衝撃波結石破砕装置

○経尿道的尿管碎石術（TUL）

経尿道的尿管碎石術（TUL）は、尿道から内視鏡を挿入して、結石を直接観察しながら破砕する方法です。

当院では昨年ホルミウムレーザーによる碎石装置と軟性鏡を導入しました。ホルミウムレーザーは破砕力が強く、比較的硬めの結石でも破砕することが可能です。また軟性鏡の使用により、それまで行っていた硬性鏡による碎石術と異なり上部までカメラを進めるこ

とができるので、尿管結石のみならず腎臓内の結石まで治療が可能となりました。

麻酔（全身麻酔または脊椎麻酔）をかけた上で、内視鏡を尿道から膀胱、尿管へとすすめて、直接観察しながらレーザーで結石を細かく破碎します。砕いた結石は特殊な器具を使って摘出します。

結石による影響、レーザー照射や尿管鏡・その他の器具の操作により尿管のむくみが生じて尿の流れが悪くなる可能性があるため、術後は尿管ステントという細い管を挿入して、尿がスムーズに流れるようにします。

手術時間は1～2時間くらい要して、入院期間は5日～1週間くらいです。

尿路結石の治療は、結石の部位や大きさのほか、年齢や体型、尿路感染併発の有無、合併疾患の有無などの患者さんの状態を考慮して決めていく必要があります。当科では、個々の状態に応じたより良い治療を提供していくことを目指していますので、どうぞご相談ください。



ホルミウムレーザー発生装置



尿管結石（治療前）



レーザーで破碎後の状態



施設用度課

部署紹介

今回は施設用度課のご紹介です。施設用度課は現在 5 名の病院職員と材料などを管理する委託業者（SPD 委託）8 名にて構成されています。課の中では「施設係」と「用度係」に分かれ日々の仕事をしております。

「施設係」は字の通り病院施設（建物）に関する修理や検査を行う部署です。患者さんが快適に病院生活を送ってもらえるよう、また、法律などで決められた施設の定期検査を実施しています。「定期検査」っていくつくらいあると思いますか？実は年間で法定点検約 10 種、自主点検約 20 種類もあるんです。たとえば医療ガスが適切に配管されているか、消防設備は適切に配置されているかなど、施設の安全を維持する為、さまざまな確認を行っております。

「用度係」は病院施設内で消費される物品や材料の購買と保管管理を行う部署の事です。院



内で登録されている約 3,000 品目もの診療材料や消耗品、また約 1,200 品の医薬品の在庫管理、発注業務が主な内容です。また高額な医療機器や清掃請負い業務などに関しては入札を実施し、適切・公平な購買、契約業務も行います。患者さんと接する機会は少ないですが「縁の下の力持ち」精神で日々がんばっております！



「SPD」ってなに？

Supply Processing & Distribution の略

Supply = 供給

Processing = 加工(小分)

Distribution = 管理

SPD センターでは各部署で使用する物品の払出・発注・配送をメインに院内の物流を管理しています。

定数物品にはバーコードがついたカードを貼付していて、そのカードをパソコンで読み込むことで正確に物品の発注、在庫の払出しが出来、業務のスピード化、経費削減につなげております。

リハビリテーション科の外来開始

新設部署紹介

平成28年度4月より、毎週木曜日の午後の部にリハビリテーション科の外来診察を開始いたしました。札幌医科大学リハビリテーション科より石合教授（第一週のみ）、小田医師におこしいただき、病気や外傷によって生じた様々な障害を対象として診療を行っております。移動能力・身の回りの動作・コミュニケーションなどの障害からの回復をうながし、環境整備や社会資源の導入も行っており、患者さんの家庭復帰や社会復帰ができるように支援している診療科です。手足に麻痺や不自由がある更衣、トイレ動作な

ど身の回りの動作がうまくできない、食べ物が飲み込みづらくむせてしまう、日常会話や仕事の遂行がうまくできないなどの症状を対象とし、必要なリハビリ訓練や薬物治療などを支援させていただきます。そのような症状でお悩みの方は、是非当院リハビリテーション科にご相談ください。

なお、対応する疾患の特徴から診察に時間を要する為、事前に予約することをお薦めしております。



石合 純夫 教授
いしあい・すみお

略 歴

昭和32年6月3日生、東京出身。

【現職】

札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座 教授

札幌医科大学附属病院リハビリテーション部 部長

【過去の勤務病院など】

昭和58年 3月 東京医科歯科大学医学部卒業
4月 東京医科歯科大学医学部神経内科
昭和59年 11月 埼玉県障害者リハビリテーションセンター、医員
昭和62年 9月 東京医科歯科大学医学部助手、神経内科
昭和63年 11月 (財) 東京都神経科学総合研究所リハビリテーション研究室、主任研究員
平成 7年 7月 (財) 東京都神経科学総合研究所リハビリテーション研究部門、副参事研究員
平成12年 4月 (財) 東京都医学研究機構 東京都神経科学総合研究所
リハビリテーション研究部門、部門長
平成17年 1月 札幌医科大学医学部リハビリテーション医学、教授
平成23年 10月 札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座、教授

平成 2年 6月 医学博士（東京医科歯科大学）

【認定医・加盟学会など】

日本リハビリテーション医学会：代議員、リハビリテーション科専門医・指導責任者
日本神経学会：神経内科専門医、指導医 日本認知症学会：日本認知症学会認定専門医
日本内科学会：認定内科医 日本神経心理学会：理事・評議員・編集委員
日本高次脳機能障害学会：理事・評議員・編集委員
日本義肢装具学会：評議員 日本脳ドック学会：評議員
日本Awake Surgery学会：運営委員 全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会：理事



小田 桃世 医師
おだ・ももよ

略 歴

【現職】

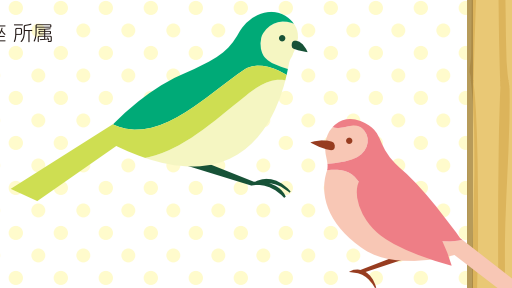
札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座 所属

【過去の勤務病院など】

岩手県立中央病院、初期研修
岩手県立中央病院神経内科、後期研修

【認定医・加盟学会など】

日本内科学会：認定医
日本神経学会：神経内科専門医



平成28年度 新しく着任した医師の紹介 1

トピックス

平成28年度から新しく当院に着任しました医師を紹介いたします。



常勤医師
整形外科

1 藤本 秀太郎 ふじもと・しゅうたろう

- 2 札幌医科大学（2013年卒）
- 3 整形外科
- 4 日本整形外科学会
- 5 小樽市立病院（2013.4～2015.3／初期研修医）
札幌医科大学附属病院（2015.4～2016.3）
- 6 バスケット、ラグビー
- 7 皆様のお役に立てるよう、一生懸命がんばります。
よろしくお願いします。



常勤医師
整形外科

1 上畠 聡志 かみはた・さとし

- 2 大阪大学（2013年卒）
- 3 一般整形
- 4 日本整形外科学会
- 5 大阪警察病院
- 6 野球、ゴルフ
- 7 わからないことなどありましたら、気軽にお聞き下さい



紹介の見方

- 1 氏名 2 出身大学 3 専門分野 4 認定医・加盟学会など
5 過去の勤務病院 6 趣味・特技 7 患者様にひとこと



常勤医師
神経内科

1 林 貴士 はやし・たかし

- 2 札幌医科大学（1997年卒）
3 神経内科
4 神経内科専門医、総合内科専門医
日本神経学会、日本神経治療学会、日本内科学会
5 札幌医科大学附属病院、国立療養所八雲病院
登別厚生年金病院、市立芦別病院
6 ドライブ、トレッキング、写真
7 患者様と一緒に病気の問題に取り組んでいきたいと思っています。



常勤医師
神経内科

1 越智 龍太郎 おち・りゅうたろう

- 2 札幌医科大学（2010年卒）
3 神経内科
4 日本内科学会認定内科医、日本神経学会
5 小樽協会病院（2010.4～／初期研修医）
札幌医科大学附属病院（2011.4～／初期研修医）
札幌医科大学神経内科（2012.4～）
札幌厚生病院神経内科（2013.4～）
北海道医療センター神経内科（2014.4～）
6 合唱、釣り、読書
7 医師は患者さんを治すのではなく、治るお手伝いをするのだと教わりました。治療の主体は患者さんご自身です。助けを必要とする、困っている患者さんの力に少しでもなれたら幸いです。



平成28年度 新しく着任した医師の紹介 2

トピックス

平成28年度から新しく当院に着任しました医師を紹介いたします。



非常勤医師
整形外科

1 森田 智慶 もりた・とものり

- 2 札幌医科大学（2006年卒）
- 3 整形外科（脊椎・神経再生）
- 4 日本整形外科学会専門医
日本脊椎脊髄病学会、日本脊椎障害医学会、
北海道整形外科学会、日本再生医療学会
- 5 札幌医科大学附属病院、砂川市立病院、旭川厚生病院
北海道中央労災病院 せき損センター、市立芦別病院
- 6 バスケット
- 7 どんなことでもお気軽にご相談下さい



非常勤医師
整形外科

（骨粗鬆症外来）

1 花香 恵 はなか・めぐみ

- 2 弘前大学医学部（2008年卒）
- 3 整形外科
- 4 日本整形外科学会専門医、
日本手外科学会、日本肘関節学会、日本小児整形外科学会、
日本骨折治療学会、北海道整形災害外科学会、
東日本手外科研究会、日本骨粗鬆症学会
- 5 札幌医科大学 整形外科、釧路赤十字病院、
留萌市立病院
- 6 ジョギング、散歩
- 7 骨粗鬆症外来を担当させていただきます。
宜しくお願いします。



紹介の見方

- 1 氏名 2 出身大学 3 専門分野 4 認定医・加盟学会など
5 過去の勤務病院 6 趣味・特技 7 患者様にひとこと



非常勤医師

リハビリテーション科

1 石合 純夫 いしあい・すみお

- 2 東京医科歯科大学医学部（1983年卒）
3 リハビリテーション医学、高次脳機能障害、認知症
4 リハビリテーション科専門医、神経内科専門医、
認知症学会専門医、認定内科医、
日本リハビリテーション医学会、日本神経学会、
日本内科学会、日本高次脳機能障害学会、
日本神経心理学会、日本認知症学会ほか
5 リハビリテーション科の外来開始のページ参照。
6 写真、鉄道
7 うまくできないことには対応策を考え、できることを生かし、
あらゆる環境に働きかけて、今を自分らしく生きること。
リハビリテーション科は、これらを総合的に支援します。



非常勤医師

リハビリテーション科

1 小田 桃世 おだ・ももよ

- 2 獨協医科大学医学部（2007年卒）
3 リハビリテーション
4 日本内科学会認定医、日本神経学会 神経内科専門医
5 岩手県立中央病院（初期研修）
同病院 神経内科（後期研修）
札幌医科大学附属 リハビリテーション医学講座所属（2015.4～）
6 映画鑑賞、花鑑賞
7 北海道に来て2年目になりました。
前職では神経内科医として主に脳卒中に携わっておりました。
円滑なリハビリテーションをおこなうことができるよう、
精進してまいります。何卒宜しくお願い申し上げます。



院内に巨大スマホ! 47インチの電子案内板設置

2月より、当院待合ホールにタッチパネル式電子総合案内板を設置いたしました。これまでも院内案内用のディスプレイはありましたが、天井近くでみづらかったり知りたい情報がすぐに表示されないなどが不便な点となっております。タッチパネル式の案内板は患者さんの目の高さで、画面にタッチすれば院内案内や医師・地域医療支援の紹介、共同通信社のニュース、バスの時刻表などが確認できます。使用してみた患者さんからは「大きくて扱いやすい」「知りたいことがすぐわかる」と好評を得られております。病院で導入され



ている施設はまだ少ないそうで3月には読売新聞にも取り上げられました。当院へお越しの際は是非活用してみてください。

お知らせ

《小樽》 桜・望洋・新光・朝里方面

無料送迎バスサービスを開始いたしました。

院内総合案内所に資料がございます。又、ホームページからも確認が出来ます。

【ホームページアドレス】<http://www.saiseikai-otaru.jp/>

※診察券をご提示ください。新患の方は「初診です」とお伝えください。



交通のご案内



■中央バスをご利用の場合

- 「各種系統 ばるて築港線」にて済生会小樽病院前下車し徒歩1分
- 「系統2番・3番 本線（桜町～高島3丁目）・（新光2丁目～手宮）」
- 「系統6番 望洋台線（小樽駅～望洋台シャングツェ下）」にて小樽築港で下車し徒歩10～15分
- 「高速バス おたる・よいち・ニセコ・いわない号」潮見台下車徒歩10分

■JRをご利用の場合

- JR小樽築港駅から徒歩10～15分

施設認定

- 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- 日本消化器病学会専門医認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本甲状腺学会認定専門医施設
- 日本神経学会専門医教育施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本手外科学会基幹研修施設
- 日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設
- JSPEN 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- JSPEN 日本静脈経腸栄養学会 栄養サポートチーム専門療法士実地修練施設
- JCNT 日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設

～ 院 是 ～

恕

じょ
(おもうやり)

～ 専門外来の受診について ～

当院の専門外来は、「他医療機関の紹介状」及び当院の一般外来からの紹介が必要です。また、専門外来によっては「完全予約制」となりますのでご注意ください。

詳細につきましては、各科外来もしくは、下記までお問い合わせください。

予約センター専用ダイヤル 0120-489-275（病院診療日の平日14:00～16:00）